

普及活動情勢報告（平成30年10月分）

高吾農業改良普及所

農業委員会で集落営農を啓発



集落営農の説明を聞く農業委員

9月28日、佐川町農業委員会定例会で集落営農勉強会を行いました。管内の状況（販売農家年齢や後継者数、耕作放棄地等）と集落を守る手段として集落営農を説明した後、優良事例のDVDを鑑賞しました。

農業委員からの「必要と思うがリーダーが大変ではないか」等の質問に対して、「リーダーは複数で行う」、「決まった形ではなく地域に応じた活動を行う」等説明しました。

これからも普及所は地域の意見を聞きながら関係機関と連携し集落営農の推進を図っていきます。

日高のトマト、第1弾の出荷始まる！



出荷されたCASの大玉トマト

日高の促成トマトの出荷が始まりました。第1弾の出荷として、JA出資型法人「(株)コスモスアグリサポート(CAS)」の大玉トマトが9月中旬から、(株)イチネン農園のミニトマトの出荷が9月下旬から始まりました。

普及所はJAと協力し、定期的な現地巡回による生育状況の確認や生育調査に基いた栽培管理への助言指導、月2回の養液分析による養液管理へのアドバイス等の支援を行っています。

今後も引き続き助言指導を行い、トマトの安定生産に向けて支援していきます。

仁淀川町で茶生産意向調査実施中！



集落の将来を考える生産者

10月7日に仁淀川町北川集落で茶生産意向調査を実施しました。集落戸数18戸に対して13戸の出席があり、普及所は、茶生産意向調査の目的や記入方法について説明しました。

参加者から「茶栽培を止めて10年以上になる。農地は荒れている。」「茶栽培をやってくれる人がおれば任せたい」等の意見がありました。

普及所は今後意向調査結果をまとめ、関係機関と共に課題整理や対策を考えていきます。

さらに良い出荷場へ～出荷場GAP点検～



点検項目を確認する参加者

10月25日、普及所とJAが連携してJAコスモス日高トマト選果場など管内7集出荷場のGAP点検を行いました。8月29日の出荷場GAP研修で講師から指摘のあった事項のうち、防鳥ネットや危険箇所の表示が改善されていることを確認しました。

今回確認できた良い取組や改善策は他の出荷場担当者とも共有し、全出荷場のレベルアップを図ります。

今後も2ヶ月に1回のGAP点検を継続し、着実により良い出荷場になる支援をしていきます。